



第69号

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長 川原 俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
© 2002 編集責任・松本暁子

CONTENTS

「山桜会のさらなる進化を」川原会長……………1
 大手前中高アンケート結果……………2
 委員会報告……………2
 理事長就任にあたって、学院長就任にあたって……………3

ホームページのご案内、賛助金……………3
 「追小教育の新しい出発」川人小学校校長……………4
 ソルトレイクオリンピック体験談、中高(茨木)……………4
 大手前中高、新年会、ゴルフコンペ報告 東京山桜会 ……5・6
 同窓会・会員だより ……6・7・8

今年、例年になく桜の開花が早く、しかも開花期間が少し長かったように思います。おかげでたっぷり桜を楽しむことができました。

もろともにはあはれと思へ山桜花よりほかに知る人もなし
 山にもこもって修行を続ける行尊(ぎょうそん)大僧正が、山桜に込めた心境が何となくわかるような気がします。

さて、山桜会新執行部が発足して早や1年が経過しました。年初の山桜会新年会には、300人近くの方々が参加していただき、会場では、皆さんに新春の歌声を大いに楽しんでいただいき、また、多数の先生方ともお話をさせていただいたように、山桜会活動の活発さは見違えるばかりです。

山桜会活動への積極的に参加によって、「仲間と楽しめる」とともに「母校にも意義のある何かが見いだせる」……。

これこそが同窓会活動にとって大事な基本であり、多くの会員が楽しみながら、しかもその活動が母校追手門学院に貢献できるとすれば、これほど有意義なことはありません。

そのためにも、今年の山桜会活動は、昨年度の実績を踏まえ、もつと活動会員のすそ野を広げたい。そして、多くの卒業生が「追手門の卒業生で良かった」と心底思えるように、対外的な活動をさらに大きく展開していきたいと思えます。

《対外活動の強化》
 昨年度、山桜会では、ホームページの新規開設、小学校、大

手前中高、茨木中高の各先生方との懇談会開催、スポーツ大会や学園祭での模擬店出店、現役生徒へのアンケート調査の実施など、対外的な発信活動を活発に行い、それぞれに大きな成果を上げることができました。その結果、歴代会長がそれぞれに工夫を凝らして築き上げてこられた山桜会活動に、さらに一層の充実を図ることができました。

2年目に入る今年の山桜会活動は、昨年度の成果を着実に生かしながら、さらなる発展を目指したいと思います。それはなによりも、IT時代にふさわしく、よりリアルタイムなホームページの充実を図ることです。各行事案内、各学年・各期同窓会の案内など、会員のホームページに対する認知度を高め、その利用度を一気に高め、同窓会のことなら山桜会ホームページを見ればすべてがわかる、ところまでいきたいと思えます。

恩師の先生方の近況も、そして会員相互のネット交流を異業種交流の重要な手段として機能できるよう充実を図ります。

また、活動会員のすそ野を全国的に広げる意味で、支部活動を重視します。今年で45周年を迎える東京山桜会、山桜会の東京支部として、関東地方の卒業生を中心とした大規模支部です。これを模範として、さらに全国区での支部結成を目指しましょう。幸い、山桜会ホームページは、全国規模なので、各地域での拠点となる会員を見つけていくことは、決して難しくはないと思えます。

そして、先生方、現役生徒との接触をより頻繁に行い、山桜会の

認知度を高めたい。さらには、母校追手門学院の教育改革を積極的支援します。学院のインターシッ プ制度(体験学習)に社会人として受け入れ態勢を充実させます。中高生の職場体験などを通じての指導は、卒業生ならではの社会貢献といえるでしょう。

いま少子化傾向の中で、学校組織そのものが全国的にサバイバルの時代に入っています。母校の伝統を維持し、さらに母校が発展するために、卒業生の立場から社会人・企業人としての意見を学校法人にぶつけ、教育改革に向けての新たな刺激を提示したいと思えます。

【年会費導入の必要性】
 今期の山桜会活動は、従前の行動パターンを凌駕する勢いで拡大しています。また、より多くの会員が活動に参加して同窓意識を高

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直し、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

私たちが支払ったとされる終身会費は、私たちの父兄の負担のもとに納入されたもので、会員となつてから自分たちが支払ってきたものではありません。

むしろ、私たちが、山桜会の年会費を自発的に納入することによって、改めて追手門学院の卒業生であり、山桜会の会員であることの自覚が促されるのではないのでしょうか。また、それが母校の教育改革の一助となるならば、山桜会の同窓会活動の究極の目的とも合致するのではないのでしょうか。

この観点から見ても、年会費制の導入は、むしろ望ましく、近く導入する方向での検討に、ご理解を賜りたいと存じます。会員の皆様方のご健勝をお祈りします。

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直し、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

山桜会のさらなる進化を

新体制2年目の活動目標と、年会費制導入を考える

会長 川原俊明

平成 **14** 年 **6** 月 **23** 日(日)

11:00 ~ 15:00

総 会 午前11時 ~

講演会 午後11時45分 ~

宮本 直和先生
 (追手門学院小学校)
 講演テーマ
「起業家教育序説…」

懇親会 午後12時55分 ~

会 場 リーガロイヤルホテル 山楽の間

会 費 8,000円(学生無料)

お問い合わせは**山桜会事務局**まで
 TEL 06-6940-3481 FAX 06-6940-3482

出欠のお返事は同封の返信ハガキにてお早目に

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直し、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

私たちが支払ったとされる終身会費は、私たちの父兄の負担のもとに納入されたもので、会員となつてから自分たちが支払ってきたものではありません。

むしろ、私たちが、山桜会の年会費を自発的に納入することによって、改めて追手門学院の卒業生であり、山桜会の会員であることの自覚が促されるのではないのでしょうか。また、それが母校の教育改革の一助となるならば、山桜会の同窓会活動の究極の目的とも合致するのではないのでしょうか。

この観点から見ても、年会費制の導入は、むしろ望ましく、近く導入する方向での検討に、ご理解を賜りたいと存じます。会員の皆様方のご健勝をお祈りします。

少しだけ近づけた気がする

～追手門学院大手前中高等学校 アンケート集計報告～

「近くて遠かった」やはりと言っても良いだろう集約すればこの一言に尽きるような気がする。昨年 11 月に実施したアンケートを私見ではあるがポイントと思われるところを PICK UP してみよう。

まず { 表 1 } を見て頂きたい。この表からは山桜会に対して現役生徒達の認知度と協力意識の有無を見て取る事が出来る。結果は一目瞭然。「認知度はあるがそれほど協力しようとは思っていない」と言う事である。私達山桜会会員もこのアンケートをチャンスととらえ今までの活動を反省するとともに 17 の回答で YES の数字を少しでも多く積み重ねてもらえることを目標に現役生徒の皆さんと一緒に活動を発表・そして実行するように努力していかなければならない。

{ 表 1 } 山桜会に対する質問事項 (囲みの数字は質問番号です)

質問事項: 1 山桜会が追手門学院卒業生の校友会であることを知っていますか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|-----|-----|----|----|
| YES | 54 | 86 | 104 | 108 | 96 | 98 |
| NO | 60 | 38 | 19 | 22 | 22 | 13 |

質問事項: 17 卒業するとあなたも山桜会会員に登録されますが山桜会に入って活動したいと思いませんか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| YES | 33 | 28 | 28 | 22 | 27 | 15 |
| NO | 82 | 95 | 93 | 88 | 87 | 86 |

次に「学校に対しての質問事項」について考えることにしよう。{ 表 2 } からは現役生徒達の母校に対する様々な思いを感じ取ることが出来る。

{ 表 2 } 学校に対する質問事項 (囲みの数字は質問番号です)

質問事項: 3 全般的に見て現在の追手門学院大手前中高等学校は好きですか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|------------|----|----|----|----|----|----|
| 大好き | 9 | 11 | 9 | 13 | 0 | 31 |
| 好き | 52 | 34 | 37 | 36 | 36 | 33 |
| 嫌い | 15 | 34 | 41 | 36 | 45 | 21 |
| 別になんとも思わない | 37 | 45 | 35 | 42 | 36 | 26 |

質問事項: 18 あなたは追手門学院大手前中高等学校の生徒であることを誇りに思いますか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| YES | 79 | 69 | 58 | 52 | 42 | 71 |
| NO | 32 | 56 | 64 | 70 | 69 | 37 |

質問事項: 17 あなたは兄弟・親戚・友人などに追手門学院大手前中高等学校への進学を勧めますか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| YES | 54 | 45 | 40 | 38 | 14 | 38 |
| NO | 57 | 78 | 81 | 86 | 99 | 59 |

3・18 2つの表の比較をすると共通点が見えてくる。中1・高3で学校に対して肯定的な思いが、そして中2～高2までの生徒達は学校に対して否定的な思いを抱いている。この現象はいたしかたない部分もあるかと思うがそれにしても否定的な意見がもう少し少なくとも良いのではと感じる。そこで もう一歩踏み入れ 17 の表を取り込んで考えよう。すると { 表 2 } の結果から、私たちは重大な、決して逃げて通ることの出来ない

現実を直視することになる。前述のとおり 3・18 の結果からは学校に対し中1・高3の生徒達から肯定的な意見が聞かれるのであるが、17 ではそれが全く逆転現象となって生じている。質問内容はさほどかけ離れていないのにこのような現象が生じたのは何故か?そこにはある一定の満足感と現実の G A P に直面する生徒達の姿を垣間見る事が出来る。つまり中1では希望に満ち溢れ中学生生活と言う未知の世界が新鮮に映っている。高3では中学・高校と様々な思い出が交錯し学校に対し惜別の念が生じていると思われる。いい友達が出来、「これから頑張ろう・色々あったが楽しかった」スタートとゴール地点は両極端であるが、友達関係を中心とした良い思いが、共通しているのではないだろうか。しかし自分達の肉親には「追手門を勧めない」それは勉強特受験が大きなウエイトを占めているように感じてならない。いざ受験の事を考えると他人事では済まされない。もっと勉強に力を入れ有名大学などの進学率が良い学校を考えてしまうのであろう。先生が思っている以上に生徒は学力の向上を、受験のことを真剣に捕らえているように感じた。しかし、いかんせん気づく時期が遅いのは否定できない。先生は生徒達に少しでも早くそれを気づかせる義務がある。そして私たち卒業生もそのフォローを積極的にしていかなければならない。{ 表 2 } からは何回も繰り返すことになるが、ある一定の満足感と現実の G A P を私たちは如実に受け止めることになる。

最後にもう一つ、先生の生徒達に対する接し方について 生徒達の考えをまとめよう。

{ 表 3 } からは 生徒達が自然に何の企てもなく答えたと思われる YES・NO の単純な返答から非常に興味深い結論を導き出すことが出来る。

{ 表 3 } 学校に対する質問事項 (囲みの数字は質問番号です)

質問事項: 20 先生はあなたの相談に親身になってくれますか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| YES | 68 | 77 | 83 | 72 | 83 | 75 |
| NO | 46 | 43 | 39 | 54 | 30 | 34 |

質問事項: 21 先生の生徒に対する接し方は公平だと思いますか?

| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| YES | 43 | 63 | 62 | 52 | 64 | 52 |
| NO | 70 | 61 | 61 | 75 | 51 | 54 |

「親身になってくれるけど 不公平」これが生徒達の考えである。どういことなのか?最初は疑問に思ったが フリースペース (アンケートの最後で作っていた自由な意見を書く欄) を読んでみるとその謎はとけた。つまり熱心な先生と熱心でない先生の差が非常に激しいと言うことである。フリースペースには「校則をだんだんキツくするのは良いが徹底しない。」「ある生徒には強くあたり、ある生徒にはあたらぬ」と言った不公平感がその欄をにぎわしている。また反発も多い。ここまでフリースペースがこの案件に使われているのには私たちも驚いたぐらいだ。私たち卒業生が各先生の事について意見を述べることは筋としておかしい事は百も承知している。がしかし目をつぶって通過もできない深刻な問題であることは間違いない。校長先生・教頭先生にこのようなことを報告し学校として良い方向に進んでいくようフォローすることが私たちの役目である。

以上 私見でアンケートの分析をさせて頂いた。きっともう少し奥深いところに真相はあるだろうと思う。しかしながら、今回のアンケートを通じて現役生徒達に「少しだけ近づけた気がする」のは私達の勝手な思い込みかも知れないがそれなりに進歩したと受け止めていきたい。この先どうい形で現役生徒達の意見を汲み上げていくか、その道が遥か彼方ではあるが見えているのは事実である。今まで卒業生は公の場 = 山桜会として現役生徒達の考えを吸収できていなかったことを真摯に受け止め、次なる手を早急に打てるよう約束し又努力を惜しんではならない。

最後にアンケートにご協力頂きました先生方、そして何より追手門学院大手前中高等学校の現役生徒の皆様にも心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

教育支援委員長 能登知己

委員会報告

IT推進委員会

本当に山桜会のホームページが出来るのか?という不安からスタートしたIT推進委員会。我が委員会は、川原会長の特別な思いが込められて発足致しました。10ある常設委員会の中で、一番幅広い年代 (30代から 80代) の委員構成であります。

昨年の 12月1日をグランドオープンと位置付けて、ホームページの構成、内容について委員会において、検討に検討を重ねてきました。そんな意見交換の中から、山桜会の会員は全国に住んでいるのだから?という素朴な疑問から始まった会員分布図のページ。また、行方不明になっている方を可能な限り探し出すと不明者一覧を設けておきます。ほかに、学校ごとの卒業期がまちまちな為、換算表が必要じゃないかといった意見。恩師は、今何をされているのだから?という思いからの「恩師の今」と言ったように、気になる問題を出来るだけみなさんに伝えていこうと考えております。皆様が一番身近に感じて頂けるのは、同窓会の案内ページではないでしょうか。

開催告知を山桜会ページ内で行っております。同窓会を開催される際は、是非こちらの方もご利用下さい。

是非、山桜会ホームページにアクセスをお待ちしております。
IT推進委員長 馬場 耕一郎

<http://www.yamazakurakai.com>

渉外交流委員会

平成 13年度、渉外交流委員会は、追手門学院校友会山桜会 (以下は山桜会) と追手門学院小学校、追手門学院中高等学校、(茨木) 追手門学院大手前中高等学校の学校関係者、PTA、現役学生との交流の場を設け、山桜会と追手門学院各学校の理解を深め交流が円滑に進む事を、目標に活動してまいりました。

昨年度 渉外交流委員会の主な活動としては、
9月23日 大手前中高等学校文化祭においていけ焼きコーナーを出店
10月23日

茨木中高等学校PTAスポーツ大会においていけ焼きコーナー出店又、ソフトボール大会に参加させて頂きました。

11月23、24日 小学校文化祭にもいけ焼きコーナー、山桜会コーナーを出店
各、学校の教職員の皆様のおたがいに協力を頂き、現役学生との楽しい触れ合いの場を持つ事が出来、大変有意義な時間を過ごさせて頂いております。

又各学校の教職員の皆様との懇談会も企画し今の各学校の現状についての意見交換各学校の先生方との交流ができ、是非毎年懇談の機会を設けたいと思っております。今年度も、各学校、PTA、現役学生との交流を積極的に活動して行きたいと思っております。山桜会活動に興味のある方、是非活動に参加して下さい、お待ちしております。

渉外交流委員長 北村 寿彰

財務委員会

平成13年度当委員会の活動状況及び平成14年度以降の方針について報告致します。

当年度の活動については、山桜会の財政の運営及び管理を主目的としておりますので、日常的には各委員会より提出された活動資金の執行を確認すると共に、事務局において取り扱われる経営的費用の監査を中心活動として遂行してまいりました。結果、事務局の業務の充実が計られたと考えておりますが、今年度以降より一層の内容を高めていきたいと思います。

又、将来的な問題点として、少子化による終身会費収入の減少がせまってきておりますので、当委員会において賛助金・寄付金収入等以外の収入源の確保を検討しておりますが、いまだ検討課題の段階の案件ばかりですので、会員皆様方におかれましては、財源の確保となる案件がございましたら是非お力添えいただけますようお願い申し上げます。

そのような状況でありますので、平成14年度予算案につきまして各委員会の活動予算が制限されます事、お詫び申し上げます。

財務委員長 石津 良行

文化活動委員会

昨年度より川原会長の元、新しい組織の中でスタートしました文化活動委員会ですが、理事、評議員の中から14名もの皆様に参加して頂きどうも有難うございました。

委員会開催は1回、行事も山崎散策の1回だけでした。大変少ない活動の中ご協力頂きました委員の皆様には感謝します。参加して下さいました委員の皆様も同様です。

今後はゴルフコンペ、見学会、講演会等、様々な行事を各委員会と意見を出し合い、長く続けていける企画を行う予定ですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

文化活動委員長 大向 博

会則委員会

山桜会は会則以外に関連規定がほとんど明文化されていなかったため、会則委員会では、昨年度は内部規約である「慶弔規約」「理事会規程」を作成し、理事会の承認を得て発効いたしました。

只今は、近々導入予定の山桜会の年会費制に伴う会則変更および関連規定新設を協議しております。また、本会の中間法人化の協議も特別委員会の下で進行しておりますので、本会の根本規約である、会則の変更がこれから度重なることになると思っております。

経済界の基本法である商法が企業のグローバル化を目指して毎年いや半年毎に改正する現状を見るにつけて、山桜会の会則もその活発な活動に伴い、柔軟かつ迅速に現状に副うべく改正を続けていきたいと思いますので、どうぞ、ご理解、ご協力をお願いいたします。

会則委員長 香山 恭慶

改革推進委員会

吾らの学院追手門校友会山桜会改革委員会としまして早や一年が過ぎました。この間の各委員会の活発な会議に参加、又小学校、大手前中高、茨木中高的各先生方との懇談会に積極的に参加し、あついに2年目に入り当委員会に報告会合しました所、風紀・誇り・尊厳を守りしめる憲章(大憲章)を先ずもって作り、栄えある学院校友の人物を考えております。

会員各位のお言葉がありましたらお聞かせください。又、PTA方、先生方、生徒諸君、山桜会員の一人となるご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨今時代は流れております。やはり歴史があればこそ今日がある。この今日に恥じることなく、継承するには、積極的な対内外活動と友愛しかないと思っております。よって、波が2年目より少し立つかもれません。諸君!母校のための母校に"心"を掌中してください。

改革推進委員長 佐藤 文一郎

理事長就任にあたって

理事長 大木 令司



私、このたび理事会のご推挙をいただき、戸塚前理事長の後を受け理事長に就任いたしました。伝統ある追手門学院の経営を、この極めて重大な時期にお預かりすることになり、重責を痛感し、身の引き締まる思いであります。いま我が国の私学経営は、極めて困難な局面を迎えています。社会構造の劇的な変化と国際的にも例を見ない急速な少子化の影響が競争力の弱い私学を直撃しています。さらに、これに追い打ちをかけるように、国立の学校が変革にむけて動き出しています。国立

学院長就任にあたって

学院長 後藤 幸男



この度はからずも、わが「心の故郷」追手門学院に再び学長として帰ってくることにいたしました。思いかえせば十年前、学院長・学長を併せて拝命したときは身に余る光栄と感じつつも浅学菲才の身に果して、百余年の輝かしい伝統を守り、その職責を充分果しうるか、一抹の不安、危惧の念を抱いたこともありましたが、

大の独立行政法人化などにはまだ時間が掛かると思われますが、公立中学校に教員免許を持たない民間入校生を起用することや、小中9年間教育構想など急ピッチで改革が進んでいます。外部環境がこの様に激変しているにもかかわらず、一部の私学とりわけ規模が大きく、歴史の古い私学でこいつた変化に対応できていないものが見受けられます。本学院も、その例外ではありません。これまで本学院は、各学校、園を経営主体とする「ゆるやかな連合体」として学院経営が図られてきました。年間数回開かれる理事會をタテにつなぐだけで、学院経営らしきものを形造つてきました。子供の数も経済状態も右肩上がりの時はそれでも良かったのですが、環境は一変しています。マネージメントの不在は、即マーケットからの退場を余儀なくされます。今こそ、本学院の歴史と伝統にふさわしいマネージメントの柱を、明確に打ち立てなければなりません。それぞれ、学院を愛し、その発展を願いながらも、ともしれば学内の力は、一本にまとまっています。

自彊の精神の下、自主、自由、自立の教育理念によって理想的な教育を推進し、二十一世紀に飛躍する有為な人材を育成することが先決と信じております。また近年のIT革命や経済のグローバル化の進展、環境保全と福祉の増進への寄与等々私学への多方面の要請に即応すべく、教育内容の刷新をはかり、「さすが追手門の卒業生」と高く賞揚される人物を輩出するよう、全力を尽くしたいと考えております。何分にも私には、空白の四年間ですが、この間に幾多の激変が学院内にも生じておりますから、徒らに「今浦島」の感傷に耽ることなく、直ちに「あらたなる発展」に向けて第一歩を踏みだす所在でございますので、卒業生各位におかれましては、何卒倍旧の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

せんでした。ベクトルは様々な方向に向かい、時にはそれによってまた別の新しい摩擦も起きています。今度こそ、皆さんの力を一本にまとめ、「栄えある学院」の発展を目指し立ち上がりたくてはなりません。改革を成し遂げるパワーは、間違いなく学院内にあります。大切なことは、バラバラになつていないパワーをまとめ上げることであります。本学院は、多くの他私学のようにオナー、或いはそれに代わる宗教法人などの経営主体がありません。しかし、本学院の危機や発展期には必ず学院関係者、保護者、校友会が一致団結し、難局を乗り越え、危機を乗り越え、さらには発展してきたのが本学院であります。

日本の私学が、かつて経験したことのない荒波にもまれていますが、今こそ我々は、本学院の先人達に思いを馳せ、追手門学院の発展のため、一致団結してこの難局を乗り越えていかなければなりません。皆様のご理解とご支援を心からお願ひ申し上げる次第であります。

追手門学院校友会山桜会 ホームページのご案内

山桜会ホームページの内容をご案内します。山桜会の活動内容を知っていただくとともに、会員間の情報交換の場としてのご利用も期待しています。また内容は定期的に更新されています。

アドレス: <http://www.yamazakurakai.com>

HOME: 最新情報の一覧を見ることが出来ます。
山桜会とは: 会長挨拶、会則、組織図、評議員の名簿、沿革、会計報告が閲覧できます。
 1) 会長挨拶は定期的に更新されています。山桜会の現況と取り組みをよくご理解していただけるものと存じますのでぜひ定期的にご覧ください。
 2) 沿革は、母校と山桜会について西暦1888年、明治21年大阪借行社付属小学校から現在に至る変遷を一覧することができます。

会員ページ: 会員ページからは同窓会案内、同窓会報告、会員分布図、不明者リスト、住所変更の各欄に行くことが出来ます。
 1) 同窓会案内では、同窓会・クラス会・各種会・OB、OG会などの開催をお知らせします。またこの案内に掲載をご希望のかたは**ホームページでの同窓会・クラス会・各種会・OB、OG会の案内掲載依頼**から申し込むことが出来ます。
 2) 同窓会報告では写真入りの報告を閲覧できます。
 3) 会員分布図は日本地図から都道府県別に選択すると市町村別の会員人数がわかります。
 4) 不明者リストでは、会報の宛先不明者などから卒業期別に不明者をリストしています。みなさまの同期の友人やクラブ等の先輩後輩で、不明者リストに掲載されている方をご存じの場合は事務局までお知らせください。
 5) 住所変更では、このページ上からインターネット上で変更可能です。事務局からご本人に電話で確認したのちデータベースに登録します。

活動報告: 山桜会の過去および未来の年間予定表が掲載されます。また理事会等の議事録を見ることが出来ます。
名簿販売: FAXによる申込書のダウンロードとEmailによる申し込みが出来ます。
賛助金: 賛助金のお願いを平成6年からお願いしてまいりました。よりいっそう活発な山桜会の活動のためご協力をお願いします。ご賛同をいただいた方のために賛助金の振り込み方法を記載させていただきました。
恩師の今: 小学校、大手前学舎、茨木学舎別になつかしい恩師の先生方の近況や報告、写真などを閲覧できます。ほぼ1、2カ月おきに追加されています。
掲示板: 掲示板を閲覧、投稿するためには認証情報を入力する必要があります。IDとパスワードは会報に掲載されています。会員間の情報交換の場、意見交換の場、山桜会へのご意見の場、ホームページへのご意見などどしどし活用してください。

リンク: 追手門学院のホームページや、学年別の同窓会のホームページへのリンクがあります。
問い合わせ: お問い合わせ窓口一覧として、「住所変更等の連絡」のページ、「ホームページでの同窓会・クラス会・各種会・OB、OG会の案内掲載依頼」のページ、および電話、FAXでの問合せ先が記載されています。
最新情報: 山桜会主催の文化活動の案内や、山桜会会員の活躍状況の情報が掲載されています。
会員分布図: 会員ページの会員分布図と同じく日本地図から各市町村別の会員数を知ることが出来ます。
会報: 山桜会会報をホームページ上で閲覧できます。現在のところ閲覧できるのは第68号ですが、今後増やしていく予定です。
期換算表: 西暦、和暦と小学校、大手前学舎、茨木学舎の中高の各卒業期との換算表です。
校歌: 追手門学院の校歌を聴くことが出来ます。

● 賛助金氏名一覧 ●

(平成13年12月1日~14年3月まで)
順不同(敬称略)

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 辻野 叔秀 (茨高21期) | 荒井(菅野) 恵子 (大高9期) |
| 牧 和男 (小76期) | 深江 賢 (小61期) |
| 末広 秀次 (茨高20期) | 樽崎 正博 (小56期) |
| 中谷 千春 (大中高38期) | 伊東(木股) 浪江 (小81期) |
| 山本 俊夫 (小50期) | 伊東 宏志 (小110期) |
| 富田 和男 (小54期) | 塩谷 章 (小61大中高4期) |
| 宮澤 昭彦 (小80期) | 池田 利夫 (小81期) |
| 大向 博 (小77大中高20期) | 馬場 靖文 (小38期) |
| 鳥谷 敦 (小106期) | 深田 尚司 (小94期) |
| 野間 清延 (大中高20期) | 常吉 俊男 (小55期) |
| 神前 景一 (大中高31期) | 足立 尚 (茨中4茨高24期) |
| 井上 素夫 (小49期) | 真原 立二 (小76期) |
| 板谷 禎二 (小43期) | 今野 美季 (小88期) |
| 佐藤 千晃 (小62期) | 山下(戸谷) 昭子 (小90大中高33期) |
| 竹之下 匠 (小110期) | 松尾 富文 (小56期) |
| 岡崎 史郎 (小43期) | 谷口 浩平 (小51期) |
| 釜堀 忠雄 (大中2期) | 竹村 順二 (小70期) |
| 西川 元規 (茨高48期) | 早嶋 健 (小51期) |
| 大内(川崎) 眞穂子 (大中高24期) | 古我知 俊晃 (大中高6期) |
| 深見 半蔵 (小45期) | 村田 尚之 (大高27期) |
| 安藤 正勝 (大中3期) | 藤間 義人 (小90期) |
| 相馬 太郎 (小49期) | 中村 匡宏 (小93期) |
| 太田 忍 (茨高22期) | 吉田 訓康 (小57期) |
| 堂ヶ原 古弓 (茨高28期) | 神谷 智雄 (小84期) |
| 大島 知之 (小39期) | 三田 裕 (小49期) |
| 万城目 智子 (小102期) | 中本 収 (小83期) |
| 万城目 学 (小99期) | 甲谷 富佐子 (大中2期) |
| 万城目 徹林 (小72大中高15期) | 田村 鈴代 (茨中16茨高36期) |
| 林 正行 (大中高36期) | 乾 眞実 (小77期) |
| 新津 建樹 (小72大中高15期) | 花本 樹芳 (大中高14期) |
| 榎野 幾之輔 (小41期) | 豊田 豊 (大中高3期) |

追小教育の新しい出発

学校長 川人 公一

本年三月、百十三期生、百五十名が卒業、晴れて伝統ある山桜会員となった。山桜会員諸氏のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

四月より、百十九期生、百五十九名が入学。将来の山桜会員の入学を心から祝いたい。厳しい入学審査を見事突破し合格、本校の一年生として迎えた事、誠に喜ばしくこれからの活躍を祈りたい。平成十四年度、まさに日本の教育改革元年の年である。完全学校週五日制、新学習指導要領による授業等の全面実施がスタートした。大きな転換期なのである。本校においても完全学校週五日制を導入し、全教員の衆知を結集して作成した新追手門カリキュラムによって教育活動を開始した。総合的な学習等新しい教育を含みながらも「社会有為な人材の育成」を理念とし、「敬愛」「剛毅」「上智」の教育方針は不動である。伝統ある教育の継承を行い新しい教育へ邁進する基本精神はゆるぎない。基礎・基本の定着はもちろん、従来にも増して「高い学力」をは

中・高等学校ニュース



コース制の導入を柱にした学校改革に取り組み、この四月で三年目を迎えました。年が明ければコース制の第一期生が卒業することになり、その成果が問われます。この間の取り組みを中心に、中・高の近況を報告します。

高等学校は学級定員を従来の46名から40名に変更し、240名の募集としました。これは、教育条件の向上と内部中学生のクラス減への対応を考慮したものです。

本年は内部生の頑張りにより、36名の中から英数コースに5名、理数コースに5名の合格者を出し、外部からの受験生の倍率は次のようになりました。英数コース10.9倍、理数コース6.1倍、総合文理科コース1.9倍。なお、総受験者数935名、うち外部受験者数157名であり、これは昨年比50%増でした。このことは追手門の学校改革が外部で評価され、中

かる事を重点として、四教科にかけると数の十分な確保をもとに多様な個性に富んだ総合的な学習の時間等特色ある、そして充実した学習も実施する。確かな学力の向上、「心の教育の充実」を目標に児童達に追手門の子としての気品をそなえ、しっかりと「生きる力」を育成する事を主眼としている。又、学校週五日制にもならない家庭教育の場も重要さを増した。自ら学び、考え、決断する事の自立心育成の場ともなる。母校の転換期、新しい学校作りにご理解いただき、山桜会員皆様の母校に對するご支援、ご協力を今後共々よろしくお願い申し上げます。次第です。

学生にとって「行きたい高校」保護者にとつて「学ばせたい高校」になつていくという事実を示すものといえます。結果として272名の新入生を迎え入れることができたことは、私たちの大きな喜びであり、さらなる改革へ向かう意欲をかきたてるものとなりました。中学校も学級定員を40名から35名に変更し、70名の募集としました。昨秋の説明会やプレテストを経て、アカデミックコース59名、ダイナミックコース32名の91名の受験者を得ることができました。残念ながら入学者は46名でしたが、中学校にコース制を導入して2年目で、昨年と比べて23名の受験者増であったことから、今後の展開に期待しています。とくに今年度の内部の小学校から4名の受験者頂き、内部的な評価も得られつつあることを有り難く受け止めています。

なお、来年度も中・高ともに専願者の卒業生親子・兄弟姉妹関係の優遇措置を実施致しますので、今年度同様多くの関係者の皆様の「ご子弟の受験を期待しています」。

オリンピック体験談

中西 拓 (茨高 38 期)



オリンピックのピットを想像する。言おうなら「おもしろかつたなあ、です。ソルトトレイル中在期の間は、記憶はつきりしているのに、今思い返すと夢の中の出来事みたいな感じがしています。僕がフリースタイルスキーを始めた動機は、ひとまえて目立ってるから。観客の歓声が大きなエネルギーになっていました。だから世界中の人に見てもらえるオリンピックに出られることは本当に嬉しいこと、行く前からかなり楽しみにしていました。試合までの練習期間は5日間、調子よく練習していたのに試合前日になって怪我をしてしまいました。その瞬間はもう出場は無理かと思つたのですが、トレ



「ナー」になんとしても飛べるようにして頼みました。ここまできて本番で飛ばずに帰れるかと緊張してみただけで、練習で演技難度を下げて出場することにしました。飛びたつた技ではないけれど、そのとき出たことを精一杯やるつもりでした。スタートの上のほうで自分の順番を待っている間はいつもと変わらなくて、準備をすませたら、スタートに立ちジャンプ台を見てその向こう側にびっしりと人が埋もつた観客席が見えました。いつもの試合と違う雰囲気でした。ゾクゾクしました。緊張もしたけど、オリンピックのスタート地点に立っている嬉しさのほうが大きかったです。怪我とか難度を下げることは頭から



吹っ飛んでいました。自分でも興奮しているのがわかりました。滑る前には落ち着いて演技に集中できました。2回目の演技を終えて点数が出るまでの間、気持ちよさにひたつていました。今まで出演したエアリアルは、ヨ一のなかで一番でっかいシヨイでした。いまこれを書いていても思い出してにやけてしまっています。オリンピック後の全日本選手権大会を最後に選手を引退しました。オリンピックも含めて競技生活を心底楽しむことが出来た。それは一人では絶対に出来なかつたことで、多くの方々がすばらしい環境を与えてくれたからでした。卒業したからでもなお応援してもらった追手門関係者の皆さん本当にありがとうございました。ざい

第一に、授業の充実を図るために、中・高ともに新学期当初に「学習オリエンテーション」を実施し、学期ごとの対生徒「授業アンケート」により授業の改善を試みました。結果として、生徒・教師ともに授業に対する意識が高まりました。これに加えて、今年度は公開授業制度を導入しました。

第二に、総合文理科コースにおいて「英語の習熟度別授業」を実施し、成績に応じて学期ごとの授業クラス編成替えを行いました。これにより、学力に応じた手厚い指導を受けられ、理解が深まり、良い意味での競争意識が生徒の中に生まれました。また、成績不振者に対しては、中・高ともに「フィードバック学習」の手当てを行い、大学進学に向けては毎日7限後の2時間のアドバンスセミナーを実施し、22講座245名の参加がありました。さらに今年度は、高三の進学面での数値目標を達成するために、6時以降の特別セミナーを開講し、また、教員の教科指導力向上に向けて、代々木ゼミナールと提携した教員研修を実施しています。

第三に、年度当初に、各コース・各教科の「数値目標」を設定し、その達成度を外部模試の結果で点検することで、外部模試を軸として教科の指導・学習が行われるようになりました。



コース制を導入して一年目の中学校でも、朝礼時テスト、放課後学習、サマースクール、ウィンタースクールなどの熱心な学習指導の取り組みが行われました。ダイナミックコースについては、「もう少し伸び伸びと生活させてもらえるのではなかったですか？」と保護者の方からのお話がでるほどでした。しかしながら、最初に述べた中三生の頑張りはこのような取り組みの中から生まれたものであることを銘記しておきます。

課外学習の充実 教科の学習の一方で、楽しい学校生活に欠かせない様々な活動を充実させていくために、特別教育委員会を設置しました。クラブ活動については、クラブ運営会議の提案で、クラブコーチ制を導入しました。中野球、高サッカー、高野球

の3つのクラブについて新規に外部からコーチをお招きし、指導をお願いしています。従来からコーチのついでに柔道や種目の指導ができる教員が顧問であるクラブを含めると83%のクラブが、技術指導を受けることができ、充実したクラブ活動を送っています。

一方、中・高コース制の将来展望を考へる六年生委員会の主導で、昨年9月より、中学一年生のダイナミックコースと中学二年生にベルリッツによる英会話導入されました。これは将来的な国際理解教育を中心とした教育の展開などの試行として実施されました。本年度は高等学校へ導入し成果を確認したいと思っています。

また、校外学習会議の取り組みにより本年度より海外語学研修をオーストラリアのサンシャインコーストにて実施します。23日間の語学学校での研修とホームステイとなりますが、事前に10回のベルリッツによる英会話指導を組み込んでいくのが特色です。事後指導と合わせて一年間を通じてモチベーションを高く維持し、英語コミュニケーション能力テストなどににつなげていくのが最終的な目標です。

我々の改革のシンボルとして長年続いた制服を一新しました。新制服はイギリスのピーターマツカーサー社のデザインで、紺のフォーマルとチェックのグレイの替えスポーン、タリタンチェックの替えスカート(高校は二種類)からなっています。中高の区別は、カッターの色が中学はクリーム、高校はブルーであり、女子の替えスカートの色柄が異なります。その他の取り組み

情報化の教育に向けてコンピュータリムを新設し、東進Dスクールと提携したVTR個別学習室を新設しました。以上、ここには書き切れない様々な取り組みがなされています。だからといって、我々は旧来のすべてをなげうたわけではありません。追手門学院中高は、卒業生諸氏のイメージを壊すことなく男女共学の進学校として、クラスHRや学年集会、学校祭や修学旅行などを通じて、豊かな人間性の育成にも十分な努力を払って、今後とも生徒・保護者の皆さまの信頼や共感を寄せられる教育に取り組んでいく所存でございます。

新制服の制定



追手門学院校友会山桜会新年会御報告

恒例になりました山桜新年会は1月19日(土)午後6時より太閤園「ゴールデンホール」西・東の間において開催されました。当日は戸塚学院長様大木理事長様はじめ法人理事の方々、各中学校長をふくめ270名の御参加いただき盛大に盛り上げていただきました。今年もゲストとして大手前中高出身のオベラ・ミュージカルで御



越智則英氏を囲んで

活躍の越智則英氏をお招きいただき、お祝い申し上げます。山桜会会員の皆様にも御挨拶申し上げます。山桜新年会実行委員会



川原会長ご挨拶

追手門学院校友会山桜会ゴルフコンパ御報告

第1回山桜会チャリティゴルフコンパが4月13日(土)オリムピックゴルフ倶楽部において開催されました。当日は晴天に恵まれ40名の参加を得て楽しくゴルフを楽しみました。プレー終了後の懇親会も盛り上がりました。今回は大手前中高18期の異業一様が男性部門で優勝されました。又、女性部門では追小78期の浅井知子様がベストグロス賞(ベストスコア)を獲得されました。



セフへ寄付されました。老若男女、上手下手関係なく楽しんでゴルフというスポーツを通じて交流の和を広げて行くことを目的に開催されました今回のコンパは参加者の御協力により和やかに終えることができました。参加頂きました皆様には心より御礼申し上げます。競技委員長に大手前中高20期楠亀利弘氏に就任して頂き、今後もしっかりと開催させていただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。越智忠正 実行委員長



今回コースデビューの小77期真美さん



優勝者 大中高18 異業一さん

ユニセフ感謝状

Anniversary "50 years old"

大手前中学・高校18期

卒業して35年もすぎましたが、でもいつまでもあの時の友情は、変わりません。山桜会を通じて、学校に役立てて下さい。

～あなたの町の法律家～

市民共同司法書士事務所

不動産登記、商業登記、裁判事務、破産・民事再生等の債務の整理、帰化、遺言書作成、供託、成年後見など

司法書士 **谷 嘉浩** (中高41期)

TANI YOSHIHIRO

〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-5 (谷山ビル階)

TEL 06-6365-8135(代表)

大手前中・高等学校

56期インターナショナルコース・プレキャンプ

3月28日(土)30日(2泊3日)の日程で、貝塚市にある「大阪府立少年自然の家」において、56期インターナショナルコース・プレキャンプを実施しました。正確には入学式前なので、入学予定者対象の宿泊行事ということになります。現地では、ひたすら「仲間作り」のための「遊び」に徹しました。「展望台ハイキング」・「キャンプファイヤー」・「野外料理コンテスト」・「キャンププログラム」・「スポーツプログラム」・「小橋先生を囲んで」・「ベッキー先生を囲んで」・「仲間作り」等々



子供達が遊び疲れるか、それとも指導者が疲れ果てるのが早いかを競い合うかの様に、とにかく遊んで遊びまわりました。「生徒指導部長講話」や「人権教育部長講話」等については、残念ながら割愛をせざるを得ませんでした。さて、ここでも一つ特筆しておかなければならないことがあります。それは昨年度に引き続き、グループリーダーとして卒業生を起用したことです。(46期生の乳深公佑君・49期生の小川真史君・辻本侑介君・石川智香子さん・金井明香さん)中には、カールスカウトの現役リーダーもいますが、ほとんどもはキャンプリーターとしての経験が残りありません。その代わり、「追手門大好き」の心で、という点では誰にも負けないであろう青年達が呼び集められました。彼らは「追手門大好き」の心で、ども達と接し、ともに笑い、ともに考え、ともに苦しんでくれました。そして、ども達は、彼らリーダー達に心なやみながら、2泊3日の共同生活を明るく元気に有意義に過ごすことができたのです。遊びの中に密かに仕込まれた「コミュニケーション」や「自己表現」

という課題にも、それぞれ真剣な表情で取り組むことができました。どうやら、「追手門のことが大好き」というハートは、計りしれない程の大きなエネルギーを有しているようです。また、前年度のキャンパーの中から5人(55期生の川原辰也君・永敷了君・横井啓人君・芦田涼絵さん・西田孝子さん)を選んできて、サブリーダーとして活躍してもらいました。もちろん、将来のグループリーダーとして育てることを目的としていたわけですが、彼らは期待に応え本当に良くやってくれました。彼らにとっては、無我夢中で体当たりを繰り返した3日間であったようですが、もしかすると、最も成長したのは彼らサブリーダー達なのかもしれません。今回キャンパーとしてグループリーダー・サブリーダーの姿を見ていた、ども達のなかから将来のプレキャンプ・リーダーが育ち、追手門大好き」の輪が益々広がれば、これ程素敵なことはありません。そして、この夢は、近い将来きっと実現するのではないのでしょうか。嬉しい予感を感じながら、新入生を迎え入れることができそうです。

「スピーチは、皆の前だったしはじめてだったから緊張した。この2日間が友達ができたら、入学式もきやすくなった。」

「教頭先生に、協力することの大切さの話を聞きました。班の子と仲良くできて、良かったなと思います。今のプレキャンプは、とてもよかったです。学校が始まったら、勉強・部活・友達関係を良くしたいです。」

「食事の時間に、楽しい話が多かったです。一日間は、ほんとうに楽しかったです。たくさんのお友達と出会えました。」

「いっぱい友達できて、よかったと思います。」

「カレーはすごくうまくできたけど、先生たちのカレーの方が美味しかったです。」

「はじめて会うので、直ぐに仲良くならないと思ったけど、バスに乗る前に仲良くなった。自由の遊びも笑顔いっぱい活動ができた。この調子で今後もやります。」

「はじめは、友達ばかりで、仲良くなるのに、とても仲良くなったのでびっくりした。」

「まず友達と話をすることが、すごく不安だったけど、大丈夫だった。仲間がこんなにたくさんできたのは、とても嬉しかったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。」

「この2日間で友達もできて、入学前によく思い出になりました。楽しかったです。また、こんなキャンプを楽しみたいです。」

EX・BIOコース・プレキャンプ報告

4月より56期生として入学するEX・BIOコースのプレキャンプを3月25日・26日の1泊2日で実施しました。琵琶湖に面した近江八幡国民休暇村は、キャンピングが、結論から言うと帰路のバス内の和やかな雰囲気、成果を物語っていました。

「教頭を囲んで」「ウォークラリー」「グループタイム」「カレー料理」や広場でボール遊びなど、予定のスケジュールを順調に終えた。リーダーとして50期生の7名が世話をしてくれました。56期生の言葉は、本校の特色を伝えてくれたと思えます。56期生となる子供たちの感想を記してみます。

「はじめて会うので、直ぐに仲良くならないと思ったけど、バスに乗る前に仲良くなった。自由の遊びも笑顔いっぱい活動ができた。この調子で今後もやります。」

「はじめは、友達ばかりで、仲良くなるのに、とても仲良くなったのでびっくりした。」

「まず友達と話をすることが、すごく不安だったけど、大丈夫だった。仲間がこんなにたくさんできたのは、とても嬉しかったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。」

「はじめて会うので、直ぐに仲良くならないと思ったけど、バスに乗る前に仲良くなった。自由の遊びも笑顔いっぱい活動ができた。この調子で今後もやります。」

「はじめは、友達ばかりで、仲良くなるのに、とても仲良くなったのでびっくりした。」

「まず友達と話をすることが、すごく不安だったけど、大丈夫だった。仲間がこんなにたくさんできたのは、とても嬉しかったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。」

「はじめて会うので、直ぐに仲良くならないと思ったけど、バスに乗る前に仲良くなった。自由の遊びも笑顔いっぱい活動ができた。この調子で今後もやります。」

「はじめは、友達ばかりで、仲良くなるのに、とても仲良くなったのでびっくりした。」

「まず友達と話をすることが、すごく不安だったけど、大丈夫だった。仲間がこんなにたくさんできたのは、とても嬉しかったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。」

看護婦として引率していた永田さんから、便りをお寄せいただきました。主な内容は、「生徒さんも楽しかった様で、日誌を読むとリーダーさんの事等書かれています。また友達もたくさん出たので、今回のキャンプは大成功の様ですね。多くの日記は、素直な印象が書かれています。この気持ちを大切に育みたい。(池田 晶一記)

「はじめて会うので、直ぐに仲良くならないと思ったけど、バスに乗る前に仲良くなった。自由の遊びも笑顔いっぱい活動ができた。この調子で今後もやります。」

「はじめは、友達ばかりで、仲良くなるのに、とても仲良くなったのでびっくりした。」

「まず友達と話をすることが、すごく不安だったけど、大丈夫だった。仲間がこんなにたくさんできたのは、とても嬉しかったです。みんなが仲良く、楽しく過ごせたのは、本当に良かったです。」



東京山桜会

催事レポート

校外授業とグルメの会



平成13年10月19日、王子扇屋にて昼食会をし、東京山桜会会員22名が集まり、二代将軍家光からの『釜焼き玉子』に舌鼓をうちました。厚さ6〜7cmのラウンドケーキみたいな玉子焼き(直径25cm)で、とてもおいしく頂きました。掛茶屋として文人墨客の筆や、江戸錦絵に登場したり、落語の『王子の狐』の話題に出てくる有名な『釜焼き玉子』だそうです。ポリウムたつぷりで、腹も満足し一行は、千円札、壱万円札を造っている財務省印刷局滝野川工場見学へ向かいました。貨幣は大造幣局で、紙幣は印刷局(数ヶ所)で造られるそうです。一億円の重さが10kgで、その重さにビックリしました。一千万円で1kg。目の前できれいな一万円紙幣がまたたくまに札束となってきれいに整列していきます。私達の目の前で220kgの札束の積み重なった物体に、思わず福をささがるように香りをかき手で頭や胸をあおいでいました。500kgの所では、この不況を乗り越えられるように願いながらできたてのお品(お札のこと)を見てみると、こちらまで新鮮になり、元気になり豊かになりました。

世界的に評価が高い日本紙幣は、高度な品質、精度と万全の管理体制のもとで造られているのが、説明を聞きながら、よくわかりました。垂水幹事(小53期)元大蔵省銀行局長のお世話で、普通では見れない工場をゆつたりと見学できました。楽しかったです。一行は、お土産に、お札サブレを買い、旧古河庭園に向かいました。英国人のジョサイア・コンドル(鹿鳴館設計で有名)が、古河洋館と洋風庭園を設計し、和風庭園は、植治こと小川治兵衛が造りあげたものです。大正時代の貴族の古河財閥の洋館を説明を聞き、貴族気分を味わいながらバラの咲き誇る庭園を見ながら皆で、ゆつたりとホッと安らぎながらティータイムをとり、洋風庭園、和風庭園へと散歩見学をし、よく歩き楽しく充実した一日に感謝し、各自それぞれお礼クッキーを手にし風呂がこいしく家路につき一行でありました。

ながら目の前で見て、よくわかりました。垂水幹事(小53期)元大蔵省銀行局長のお世話で、普通では見れない工場をゆつたりと見学できました。楽しかったです。一行は、お土産に、お札サブレを買い、旧古河庭園に向かいました。英国人のジョサイア・コンドル(鹿鳴館設計で有名)が、古河洋館と洋風庭園を設計し、和風庭園は、植治こと小川治兵衛が造りあげたものです。大正時代の貴族の古河財閥の洋館を説明を聞き、貴族気分を味わいながらバラの咲き誇る庭園を見ながら皆で、ゆつたりとホッと安らぎながらティータイムをとり、洋風庭園、和風庭園へと散歩見学をし、よく歩き楽しく充実した一日に感謝し、各自それぞれお礼クッキーを手にし風呂がこいしく家路につき一行でありました。

(佐伯記)



東京山桜会ご案内

例年通り6月第2土曜日、皇居前東京会館に於て
第45回東京山桜会総会を開催致します。
在京の方々のご参加をお待ちしております。

6月8日(土)午前11時開場
会場 東京会館 東商スカイルーム
懇親会 会費1万円

関東地方に転居・転任・就学された方は是非下記迄ご連絡下さい。

東京山桜会事務局 萩原正民

〒216-0023 川崎市宮前区けやき平1の54の101
TEL / FAX 044-877-2138

東京山桜会 カルチャーの集い

『校外授業』のご案内

秋10月19日(土)
11:00~17:00

清澄庭園
江戸の豪商・紀ノ国屋文左衛文の屋敷・回遊林泉庭園
江戸東京博物館
江戸東京の文化遺産を次代に継承する都市と生活を考える場
グルメ深川
高ばしどぜう伊せ喜
下町情緒と非日常料理をお楽しみに。

お問い合わせは東京山桜会事務局迄

FAX 044-877-2138

萩原正民(小53期)

小105期同窓会

平成14年1月14日(祝)小学校百十記念ホールにて、小学校105期生の「成人の日学年同窓会」が行なわれました。

小学校卒業時、当時の学年主任である吉田茂先生が、「君たちの成人式は小学校の講堂で行ないます。20歳の成人の日にごで会いしましょう」と約束されました。そして8年が過ぎ...
着物に身を包んだ女の子の背が伸びてスーツで決めた男子の子。子どもの成長を微笑ましく見つめるお母様方。そして、懐かしい先生方。130名を超える参加者が集まり、華やかな会となりました。
最初に井上嘉一郎君と井上陽次郎君の祝舞「連獅子」が披露されました。
厳粛な中にも優雅な舞で、

成人の祝いにふさわしい盛り上がりでした。
1年生でお世話になった中桐先生のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、吉田先生の懐かしいお話し振りに小学校時代を思い出しました。その後、金城様が8年間預かって下さっていた卒業謝恩会での「思い出のアルバム」(スライド)を見ました。14年前の入学式から卒業までのいろんな写真があり、時にはかわいい顔のアップで大爆笑!みんな、立派に成長しましたね。桂薫先生や今中先生のスピーチも懐かかったです!



田辺先生の乾杯の合図で立食パーティー開始。携帯電話片手に、電話番号やメールアドレスのやりとりをする姿があちこちで見られます。それが終わったら、恩師の先生方と記念撮影。にぎやかな笑



い声がホールに響きました。そして、お待ちかねの抽選会。1等のデジタルカメラは自分の物と、司会の竹内先生の呼び番号に一喜一憂。全員が賞品を持って帰りました。
最後の東田先生のお話。よく通る声、8年前と変わっていません。今は、オール4クラスですが、初めて4クラスになったときの1年に組の担任の先生です。教室は2階でした。みんな、覚えていますか?
ホールの後片付けをみんなでした後、お土産の「成人の日記念ワイン」が配られました。家に帰って、おうちのひと祝つて下さいね。
次の同窓会はいつでしょう? 今から楽しみですね。
(幹事代表)

会員だより



元好 明子 (29期生)
京都ノートルダム女子大学専任講師
中東・アラブ文化専攻

追手門学院大手前中・高等学校を卒業してから、はや21年の歳月が流れました。その間、めくるめくいろいろなことが数え切れぬほどありました。その中でも一番感慨深かったことは、昨秋のヨロ(博士号)の取得。も、これがとれたら、もう何もいらないと思つたほど得がたいものでした。
2001年9月11日、米国のニューヨークのテロ事件が、世界を揺るがす出来事として、マス内の騒ぎ、髪を振り乱して博士論文の最終原稿に取り組んでいたわたしは、アメリカの友人からか

つてきた電話でテロ事件のことを知り、即座にテレビをつきました。犯人がアラブ人らしいという報を聞き、これまたアラブ・イスラエル紛争の解決が遠のくことになるのかと長息。数日後、論文の修正を終わらせて大学院に提出し、テロの影響で予定より数日遅れて帰国の途につきました。その1ヶ月後、ヨロを中世アラブ文学専攻でインディアナ大学から卒業。近東言語文化科より授けられました。
高校卒業後、亡き母がわたしを入れたてたままだった京都ノートルダム女子大学の生活文化学科へ進学し、大学へ行く前は生活時間のはかどを、ブルの中でシンクロナイズドスイミング(浜寺水練学校所属)に費やしました。大学卒業後、シンクロのコーチおよびジャッジとしてブルサイドに立つ3年はど続きましたが、ある日、レバノン人作家、ジュブラン・ハイルル、ジュブランの「預言者」という作品を

邦訳で読み、感銘を受け、アラブのことを勉強しようと思いついたので、習志、大阪外国語大学アラビア語学科へ入学し、2年生が終了する、米国のミシガン大学アン Arbor 校、中東・北アフリカ研究所大学院修士課程で学ぶために渡米。1年半後、ミシガン大学より修士号を取得し、ヨルダン大学アンマン校へ留学。はじめての中東でした。アンマン空港から宿舎へ向かうときに車中から見た落着く夕陽は、それまで見たことがないほど大きくて赤くて美しく、たのしみです。そこで1学期間を過ごした後、ロータリー財団の奨学金を得て、エジプトのアメリカーン大学カイロ校で1年間のアラビア語集中講座にアメリカ人学生とともに参加。カイロは若くて人があふれていますが、とても人情深くエキサイティングな街でした。

99年から2年間、外務省よりレバノン日本大使館へ専門調査員として派遣されました。レバノンは、わたくしがアラブの勉強を始めたときから憧れの国でした。大使館では文化・広報担当を務め、日本の外交や文化無償援助のことなどを多く学び、貴重な体験をしました。仕事は多忙を極めました。レバノンで暮らし、アラビア語を話し、レバノン人と触れ合うことができたのは大き

な喜びでした。
2001年の3月末、10年間に亘る海外生活にピリオドを打って、レバノンより帰国。以来、母校である京都女子ノートルダム女子大学人間文化学科で、専任講師として、中東・アラブ文化とアラブ文学を教えています。海外にいた10年間、米園から中東と日本を、そして中東から日本と米園を見る機会を得ました。日本へ戻ってきて、今度は日本から中東と米園を観察しようと思つています。あのテロ事件がもたらした数少ない良い事のひとつは、世界中中東への関心を喚起したことでしょう。日本人として事象を見つめ、他国あるいは他人の意見に惑わされず、何を正しいと何を間違っているかを見極め、自分の意見を表明し実行していくことができるようになったことと切に願つてやみません。
()

小81期 同窓会



追手門学院小学校81期生同窓会

快晴で、この時期としては珍しい位温かい絶好の同窓会日和に恵まれた平成14年1月13日(日)に、5人の先生方と42人の同期生が集い、小学校81期生の同窓会を行いました。小学校81期生は、卒業以来同窓会を行った事が無く、実に32年振りの再会となりました。

当日は、まず小学校に集まり、懐かしい母校を見学させて頂いた後、場所を変えてパーティーと二次会を行う3部構成で同窓会を行いました。

その後、場所を天満橋の大坂キャットスルホテル「鶴・亀の間」に移し、福井先生にも加わっていただき、数珠先生の乾杯の御発声を皮切りに第2部「パーティー」は始まりました。余りにもみんな立派に成長されていたので、初めは誰が誰だか分からず、「あんた誰?」と言いがち、ぎこちなかったのですが、そこは6年間いっしょに過ごした同期生、すぐに32年の時を飛び越え、次の瞬間には追手門学院小学校の同級生に戻っていました。食事をするのも忘れる位、懐かしい思い出話に花が咲き、大いに盛り上がりました。先生方お一人お一人からも、有り難いお言葉をみんなに賜り、全員で校歌を合唱し、パーティーを終りました。

引き続き、同ホテルのレストラ「リヴィエール」に移動し、パーティーだけでは話足りない様子の全員に加え、遅れてやって来た同期生も加わり第3部「二次会」に突入。ここでも大いに盛り上がり、同窓会は最高潮に達しました。みんなの前で、一人一人近況を報告した後、予定を大幅に超過し、後ろ髪を引かれる思いで再会を約し、同窓会は無事終了しました。

尚、今回同窓会において吉本一仁君(ろ組・代表幹事)、伊賀己記さん(い組)、竹中治郎君(は組)に次期同窓会の幹事をお願いしました。快くお引き受け下さいました。新幹事の皆様、宜しくお願ひ申し上げます。

平成14年度同窓会幹事
一森(黒田) 晶子、岡崎勝也、小林武則、高橋(中野) 雅恵、寺西(田中) 栄子、松井薫

倉敷紀行

秋山陽彦

小59期中2期



平成14年3月2日、山桜会有志8名が何とわざわざ「新幹線・日帰り」で倉敷居酒屋コンパをやりました。なんで倉敷で近くて旨いものがあるからです。瀬戸内が汚染されて大阪の魚はダメになりましたが、岡山県まで来ると形は小さいけれど良いものがあります。それに郷土色も豊かです。丁度3月初めは「さわら」や「あらばしり」が出る季節、それを旨当てに出掛けました。

誰でも知っている「倉敷・美観地区」の北側には古い街並が残っており、その一角に「新粋(しんすい)なる居酒屋」があり、ここがこの度の会場です。真向かいが「萬年雪」という銘酒の酒蔵で、寒の間だけ出る「あらばしり」やオリジナル吟醸酒等が飲めます。「新粋」の郷土色あふれるメニューを三三紹介しました。

がらえび
本日はちゃんとした名前があるのではありませんが、5、6センチの小さなエビを丸ごと唐揚げにして大鉢盛りにしてあり、注文するとサッと二度揚げにして熱いのを出します。ビールつまみに抜群です。

さららの刺し身
3月に入ると、さららの刺し身があります。大阪人はさららを刺し身



で食べると思っていませんが、岡山では当たり前にスーパーでも売っています。スーパーのさららでさえ脂がのっけていて結構美味しいです。皮はつげず、ふつうに刺し身にしますが形も崩れず、なめらかな舌触りです。

つぎの造り
つぎは小さいかわはぎのこと。「刺し身」と「造り」は違うのだそうです。刺し身は身だけを出す、造りは一尾を全部使うということ。先ず刺し身が出て、小鉢で身も出て更に中おちのすまし汁を出すという念の入れようです。

あらだき
ふつうあらだきを頼むと、鯛のアラをたいて木の芽をどさりさりのせて熱いうちにというのですが、ここでは豪快なかんばちのアラをじっくりたき込んだのを大鉢盛りにしてあり、そのまま冷たいのを出してきます。これがなかなかいけます。

まだまだこの店の本当のベストセラーであるおでん、その他何種類かの品書きがありますが、いずれも仕事で丁寧な気が入っています。そついで雰囲気の中、一同頃の愛

いさを忘れ大いに飲みかた食べて談論風発、あとは倉敷の風に吹かれ酔い醒ましつづり滞りなく帰路しました。新大阪を15:28に出、22:28に帰りましたのでまだまだゆとりがあります。また宵の口というわけに一部有志はそこから二次会に行かれたようです。たまには大阪を離れてこいつのもいかなと思っ

ています。かんじのおあいそですが、大阪の約半分です！新幹線で行く値打ちは充分あると思えますが如何ですか？

中高18期 合同同窓会



3月16日(土) 大阪第一ホテルにて大手前学舎18期中・高等学部合同同窓会を開催しました。我々18期生は満50歳をむかえ、久しぶりの合同同窓会となりました。当日は荒西先生、原田友之先生、山本治之先生をお迎えし、総勢81名のなつかしいメンバーが出席し、大いに旧交を暖めました。又2次会会場にも65名が出席し大盛会となりました。

以下は2次会終了後の酔っぱらいのたわごとです。「久しぶりに集まって、ほんまになつかしかったわ。ところどころ荒西先生、元氣そうやったなあ。」

「そやなあ。俺なんか現役の時、何十発も殴られたけど今は、好々爺」と

「うんやあ。それまでお互い年とったし、体に気づけて元氣でな。」

「ほな、さいなら」

E・T記

「原田先生の久々のヒトラー節も聞けたなあ。」

「昔みたいな声の張りはないけど、背筋もピンとして元氣そうやったわ。」

「チョンブーも元氣そうやったんか。」

「あの先生なんで今でも黒いんやろ？今でも家の庭でバスケットの練習してはんのちゃうか？」

「みんなと会えてほんまに楽しかったわ。又何年か先にやるな。」

「うんやあ。それまでお互い年とったし、体に気づけて元氣でな。」

JRA (日本競馬協会) 伊藤雄二調教師1000勝達成



昨年10月28日、秋深まる京都競馬場、多くのファンが見守る中、グロリア・サンデー号がゴール鞍上には池添騎手の勇姿が。実はこのレースに我が山桜会会員の大偉業があった事はあまり多く知られていない。その偉業とは、このグロリア・サンデー号の調教を行った人物というのが小60中3期の伊藤雄二氏。この勝利が1000勝達成となり、JRA史上4人目の大偉業である。

馬場でオックス、天皇賞を獲得し、東京競馬場では柴田政人騎手とのコンビで調教師になつての長年の願望であった日本ダービーを制覇している。他にも35年間で重賞(G1)記念で70数回の勝利(全国1位)、11年間連続重賞制覇(新記録)、関西でのリーディングトレーナー(1年間のトータルで1着の数が1番多い調教師)5回全国トータルの日本リーディングトレーナー3回。輝かしい記録の持ち主伊藤氏の激励会を平成13年11月30日同級生有志40数名で行った。写真は記念品贈呈の写真である。今後必ず活躍されるので山桜会の皆様、ご声援の程よろしくお願ひします。

(原稿責任者 中高3期 宮田)



小45期 傘寿記念合同クラス会

平成14年4月20日 午後0時30分 於 サントリーロイヤルクラブ (堂島) 参加者 (い組) 清水幸四郎 田邊朝郎 喜井晴夫 (ろ組) 浅井三郎 岸久雄 谷口敬次 寺嶋亘 宮若久 山岡吉郎兵衛 合計9名

厳しかった原田敏視先生の躰教育、軍隊の思い出、そして余生を健康に過ごすための宮君(医師)のアドバイス等々に耳を傾けるなど、あつという間の三時間を過ごしました。

次回は、い組(多分 田邊喜井の両君)が引き受けてくれます。

少なくとも今日の出席者全員が揃つよつにしたいものです。

山岡 記

久しく聞いてなかったのですが、岸、谷口両君に尻を叩かれて、やっと五年ぶりに傘寿記念として開催することになりました。それも設備は殆どすべてが岸君におんぶにだっこ、お世話になりました。

話題はいつも変わらぬようなんですが、それがいつも新鮮な思い出として聞かせるのはどういふ訳なのでしょう？



こんにちわ、無名劇団です。

無名劇団という劇団名は、
ブランドや過去、流行などにとらわれない、
独自のものを創り出していこうという意志を表わしています。
そしてまた、名も無き花を愛で、名も無き人を惜しみ、
名も無き歌をささやくような、素朴でありふれた、
しかし確かなリアリティとして
観た人に伝わる演劇を目指すという決意も示しています。
とにかく一度、劇場に足をお運び頂けたら幸いです。
劇団員一同、心より皆様のお越しを
お待ち申し上げております。

劇団ホームページアドレス
<http://www5.ocn.ne.jp/~otemon/>

第1回 大手前中高演劇部OB公演会



市川 洋先生 帰国展のスケジュール

市川洋先生(画家)が帰国、主要都市にて展開催
追手門学院高校元恩師の市川先生がフランスより帰国し、
(山桜会会報59号にも掲載)個展を開催されます。先生
は自ら考案された『可変絵画』(写真掲載)で「無限に変
化する、ヨウ・イチカワの絵画」と言われフランスでは、数々
の賞を取られています、是非この機会にお近くのギャラ
リーに足をお運び下さい。

プロフィール

1929年広島県府中市に生まれる。1956年京都美術大学(現京都芸術大学)日本画科卒業。同専攻科終了。1956年(昭和31年)追手門学院高等部・美術講師就任。日展・京展などで活躍後1966年渡仏。以来、数々の国際的な賞を獲得。パリ市文化省より芸術活動に対する奨励金を支給される。欧州各国の美術展に出品。5年毎に日本主要都市にて個展を開催。

| | |
|--|---|
| 東京 7月29日(月)~8月4日(日) アートミュージアム銀座 中央区銀座7-4-2 ぎょうせいビル1F | 福山 9月18日(木)~9月23日(月) ふくやま美術館 西町2-4-3 |
| 京都 8月13日(火)~8月18日(日) 京都文化博物館 中央区三条通高倉 | 府中 10月 府中市立文化センター 府中町70 |
| 大阪 9月2日(月)~9月7日(土) 大阪府立現代美術センター 中央区大手前3丁目1-43 大阪府庁別館北 | 大阪 9月1日(日)~9月8日(日) 楓ギャラリー 中央区上本町西1-4-20 |



ホームページ更新情報

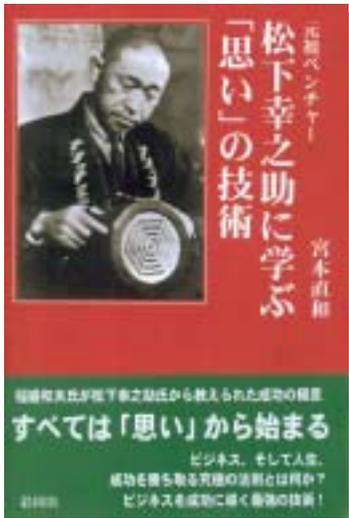
母校や山桜会の最新情報をお送りする更新情報を配信いたします。申し込み頂きましたら、旬の話題もすぐに入手することができます。購読希望される方は、以下のメールアドレスに卒業期、住所、氏名、電話番号、配信を希望するメールアドレスを明記の上、お申し込み下さい。
webmaster@yamazakurakai.com

訃報

先生
大塚 直子 小学校教諭
平成14年3月22日(金)逝去

会員
八木 紗智(小108期)
平成13年9月10日(金)逝去
ご冥福をお祈りいたします。

一面山桜会報の文字の下の写真は小59中2秋山陽彦氏撮影です。



小学校教諭宮本先生の最新刊紹介
書評：現代の混迷した日本経済を復活させるには、多数の起業家が必要。戦後の日本経済成長の元祖・松下幸之助氏から起業家精神を学ぶ必読の書。

借追会

小61期大手前中高4期同窓会のご案内

平成14年10月5日(土)に、61期4期の同窓会(借追会)を行います。
8月末までには郵便にて案内状をお送りいたします。是非ご出席ください。

当番幹事
青地 達夫
北村 庄衛
康 浩郎
平野 幸子
堀切 緑

ホームページ内の会員専用掲示板で入れます。

編集後記

今回は原稿の集まりが悪く奔走し、大変苦労致しました。会報は1年に2回の発行です。どうして1年2回発行するのでしょうか。昨年12月より立ち上がったホームページにニュースが移行し、必然的に原稿が減ったと思われ、時代はホームページが主流になってきており、今回の編集に原稿が減ったことでも、会報発行を年1回にしてはと委員会において意見が出、検討しております。経費削減が、やはり会報発行については考慮する時期だと思えます。会員の皆様はどう思われますか。ご意見をお待ちしております。

土地活用・ビル管理・30年の実績

株式会社 タイセイシュアースサービス

〒534-0021 大阪市都島区都島本通1丁目4番20号 大成ビル8F TEL(06)6921-8111 FAX(06)6927-2244

代表取締役 **辻田 四郎**
(小・67期生)(中・10期生)

大成グループ
マンション入居斡旋 **株式会社 レンティブ大成**
都島店 都島北店 日本橋店 難波店 鶴見店 千林店
森小路店 南巽店 北巽店 桜ノ宮店 梅田店

清掃 不動産売買仲介
株式会社 タイセイサクセスプランニング **株式会社 関西リアルエステート**

HAKKO

八光カーラウンズ株式会社
八光ポーティング株式会社
八光トレーディング株式会社
八光サンパビリゾート株式会社
オーストラリア

マセラティ大阪地区正規代理店
ARESE SHIN OSAKA
フィアットオートジャパン正規ディーラー
FIAT Alfa Romeo

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-35 TEL:06-6397-8008 FAX:06-6395-7395
本 社 / 〒572-0071 寝屋川市豊里町15-15 TEL:072-802-0088 FAX:072-802-0888
豊中B/P フォクトー / 〒560-0091 豊中市走井3-6-2 TEL:06-6858-8838 FAX:06-6858-8839
http://www.hakkogroup.co.jp/ e-mail:info@hakkogroup.co.jp
代表取締役 **池田八朗**(18期卒業)

川原総合法律事務所 Kawahara Law Office

弁護士 **川原俊明**
(小71・中高14期)

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階
TEL:06-6365-1065(代表) FAX:06-6365-7265
E-mail:kw-law@smile.ocn.ne.jp
http://www.kawahara-law.gr.jp

程 一彦 (中学4期)

中国料理教室

宝塚市雲雀丘山手2-15-28
ライオンズマンション802号
TEL(0727)57-0422
FAX(0727)57-5670

台湾料理リユータン

大阪駅前第3ビル店(B1F)
TEL(06)6341-3040
FAX(06)6341-8788
HEPファイブ店(7F)
TEL(06)6366-3691
FAX(06)6366-3692



まるごと満足! 大阪マルビル

お得な情報が満載のホームページ!
ぜひ、アクセスしてください!!
(大阪マルビル <http://gnavi.joy.ne.jp/marubiru/>)
(大阪第一ホテル <http://www.osakadaichi.co.jp>)



株式会社 **大阪マルビル** 会長:吉本 晴彦(小学校47期卒業)
社長:吉本 晴之
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 定休日 B1・B2毎月第3水曜日、他年中無休

おかげさまで100周年 総合フードサービス



IFSCOグループ
一富士フードサービス株式会社
代表取締役社長 **辻本 泰幸**
本社 〒553-0003 大阪市福島区福島4-7-2
TEL 06-6458-8801(代表)

給湯設備を通じて より快適な暮らしを提案

SEIWA
Industrial Corporation
株式会社 精和工業所

代表取締役社長 **山下清一**
(高14期)

本社工場 / 〒664-0836 伊丹市北本町3丁目105番地 TEL:0727-82-0281(代表)
奈良工場 / 〒636-1039 大和郡山形木町1番地 昭和工業団地 TEL:0743-56-1062(代表)